

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：石垣 善康 副会長：青島 彰 幹事：酒向 謙次 副幹事：大塚 博巳

第1889回

<ソング> 四つのテスト
<ソングリーダー> 山田 昭雄君



【シクラメン】

写真提供：事務局

会長報告

石垣 善康君

2月は世界理解月間です。本日は、月間にふさわしく、ロータリー財団奨学生の面接が例会後、行われます。財団委員長の柳原様と私の2名で面接を行います。その後、地区へ申請し受験となるわけです。ご出身は、藤枝一そして希望は海外の大学への留学ですので、ぜひ頑張ってもらいたい。私たちにとっても<地域を育み大陸をむすぶ>このテーマの実践を行うこととなるわけです。

以前にも話しましたが、ロータリー財団奨学生一静岡の田辺信弘君もイギリスへの奨学生でした。今回静岡市長選を戦っているところですが、個人的にはぜひ当選して頂き、ロータリー財団奨学生のprをして頂きたいと思っています。非常に、頭脳明晰一好青年です。

大陸をむすぶ一14年前よりインターネットが一般化され始め、近頃では、一国の政治体制まで変えてしまう、強力な恐ろしい武器に育ってしまいました。いろいろな業種が影響を受けていますが、広告業界の事をお話させていただきます。

インターネットが出現した14～15年前より何年かは、影響はほとんどありませんでした。予算が余ったから、やってみようか位の程度でした。しかし：広告料が飛び向けて安い：広告効果がある程度わかるといったことで、そのご飛躍的に延びたのです。以前は、広告を行う手段＝広告4媒体、ラジオ、テレビ、新聞、雑誌という内訳でそれにプラスして、印刷物、催事などのセールスプロモーション広告がありました。

そして、平成19年には、日本の総広告費は7

兆円でした。しかしその後、景気の低迷とインターネットの大きな普及で毎年10パーセント以上減少し21年度は5兆9000億円ー22年は5兆5000億円になるのではといわれています。実に25%の広告費全体の落ち込みです。特に、ひどいのは雑誌、ラジオです。(15～20%の落ち込み) テレビも10パーセント落ち込みです。印刷物の落ち込みも同様で、ここ数年10%の落ち込みで、印刷会社はもとより印刷機械メーカーや印刷用紙販売会社の倒産が見られるようになりました。

10年ほど前の広告産業はテレビ、新聞、雑誌、ラジオ、SP、付録でインターネット広告だったのが現在ではテレビ、インターネット広告、新聞、SP、衛星テレビ、付録で雑誌というようになってしまいました。今後は、その傾向はさらに強くなるのでしょうか。

◎米山功労者表彰

青島 彰君
後藤 功君
村松 英昭君
酒向 謙次君
鈴木 舜光君



出席報告

竹田 勲君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
35/42 83.33%	33/42 78.57%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○江崎晴君 ○大塚博君 ○島村君 板倉君

鈴木舜君 仲田晃君 水野君

(2)メイクアップ者

鈴木 勝弘君(藤枝南) 鈴木 寿幸君(藤枝南)

大塚 博巳君(藤枝南)

■ ビジター

伴野 正明君(藤枝南)

■ スマイル BOX 竹田 勲君

● きれいなお花で結婚記念日を祝っていただきありがとうございました。 竹田 勲君

● 今期結婚祝をしてくれる人はない。ロータリークラブの皆さんに感謝します。 杉山 静一君

スマイル累計額 509,000円

■ 会員増強・維持卓話

仲田 廣志君



皆さん、こんにちは。昨日プログラム委員長の小西さんから、突然電話をいただきました。今日は会員増強委員会の卓話の日とのお話でした。

会員増強委員会の委員長は、森下君です。リーダーの私の所へくるとは思ってもいませんでしたし、日程も頭にありませんでした。

森下君に、急遽電話をして相談させていただいたのですが、兎も角、お前がやれ、フォローはするからとの、暖かいと言うか、励ましと言うか、何と言うか、そんなお言葉をいただきました。ということで、私から、会員増強についての現状報告をさせていただきます。

昨年の9月から10月だったと思いますが、大長会員から、入会を期待できる人がいらっしやるとのお話をいただき、委員長の森下君と大長さん、そして私の三人でお伺いして、ロータリーの現状、活動内容について説明をさせていただきました。藤枝の駅前で、バラの花の販売等をやっている田中さんという30代の若い方でした。仕

事だけでなく、社会活動にも、積極的に関わっていらっしゃる方で、入会していただけるとのお話をいただき、理事会のご承認、そして、会員の皆さんのご承認をいただきました。ただ、その時、入会の時期については、現在、あらたな事業に取り組みつつあるということで、半年後になるかも知れないということでした。ですから、今年の7月には1人入会ということになるものと思います。それ以外は今のところ、会員の皆さんからの推薦も上がってきていません。ここ2年程の間に、大勢の新入会員を迎えることができましたので、私を含め皆さん、何となく安堵感に浸っているというのが現状だと思います。

また、経済状況は、相変わらず厳しい局面が続いていますし、なかなか推薦できる人を探すということも、極めて厳しいというのが、現実であると認識しています。そうした状況の中、会員増強も大切な事ではありますが、それと同時に、皆さんで今のクラブをより一層魅力あるものにしていき、世間の皆さんが入会したいと思うようなクラブ創りに努める事も大切な事ではないかと思います。現在の世の中、価値観も多様化している中、様々な団体があります。ボランティアを主眼とした団体、親睦を主眼とした団体等、性格も色々です。そうした中で、ロータリークラブもそういった団体の1つと位置づけられているように感じます。それは、ロータリークラブがある意味、際立った特長を出せないでいる事が、大きな要因ではないかと思います。今後、会員増強を進めるにあたっては、魅力あるクラブ創りの何らかの工夫が必要ではないかと提起させていただいて、会員増強委員会の報告とさせていただきます。

(担当/大塚高)